

さいがいにそなえる チェックしよう!もちものやくそく

ひじょうもち出しひん

ひなんの時にもち出す「ひじょうもち出しひん」をかくにんし、家ぞくでチェックしましょう。

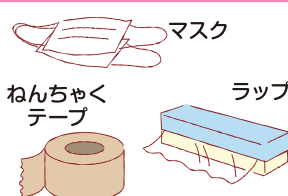
食べもの・のみもの



いるい・タオル



あるとべりりなもの



あんぜんのためのもの



ふだんつかうもの



そのほか、ひつようなものがあつたら書きましょう。

ライターやマッチ
赤ちゃんのおむつやミルク
など

家ぞくでぼうさい会ぎ

さいがいがおこった時のために、家ぞくで話し合っておきましょう。いざという時の「自分のやく目」「ひなん場しょ」「れんらく方ほう」を、ふだんから、しっかりかくにんしておくことが、大切です。

! 自分のやく目

ひじょうもち出し品をもって来る

! 家ぞくがはなればなれになった時のれんらく方ほう

さいがいでん言ダイヤルをつかう

! ひじょうもち出し品のおき場しょ

2階寝室の押し入れ

! 家の近じよのひなん場しょ

公園近くの公みんかん

! 自分の家がどのような場しょにあるかかくにんして、さいがいがおこった時にどこにひなんするかをかくにんしておきましょう。

それぞれの災害に対応した避難の確認

ぼう
防

さい
災

ノ

ー

ト

しょうがく
ねんせいよう
小学1・2年生用

— 鹿児島市教育委員会 —

表紙絵について

私たちの郷土鹿児島は、豊かな自然に恵まれる一方、災害と共に暮らし、それによって得られた経験や教訓によって暮らしを守ってきたという歴史があります。

防災教育を進めるに当たっては、そのような先人の努力に敬意を持たせるとともに、自然現象を災害の面からみ捉えるのではなく、併せてその恵みについて理解を深め、自然と共生する能力を育成することが重要です。そのようなことから、表紙には、あえて、郷土の美しい自然や風景等を掲載しました。防災教育を通じて、子供たちの郷土を愛する心も育成されることを心から願っています。

鹿児島市防災ノートの解答例を作成しました。

なお、当防災ノートは、鹿児島市「わが家の安心安全ガイドブック」と照らし合わせて作成しております。各ページに記されている二次元コードから関連するURLにリンクします。

しょうがっこう
小学校

ねん	くみ	ばん
年	組	番
ねん	くみ	ばん
年	組	番





防災ノートの特徴

①発達段階に応じた体系的な教材

鹿児島市:防災ノートは、子供の発達段階にあわせて、小学1・2年生用、小学3～6年生用、中学生・高校生用に分けています。児童生徒が、防災教育として基礎的な知識や能力等を発達段階に応じて系統的に学習できるように、共通の目次構成をとり、重要な項目については、各教育段階で繰り返し学習できるようになっています。

②児童生徒自身で調べ、考え、まとめ、書き込むノート型の教材

児童生徒が、自分自身で主体的に、調べ、考え、まとめることができるよう、書き込む箇所を多く取り入れました。小学生1・2年生用では、危険な箇所を○で囲む、正しい行動を選ぶ、小学校3～6年生では、キーワードを記入する、話し合う活動を取り入れる、中学生・高校生用では、自分たちで調べる内容やまとめる箇所を設ける等、周りの状況に応じて自ら判断できる力がつくことを意図しています。

③緊急時にも活用できる教材

児童生徒が、緊急時にも活用できるよう、携帯しやすい大きさ(A5:148mm×210mm)、長く活用でき傷みにくい材質、記入しやすい紙質、愛着のあるデザインにし、ランドセルやバッグ等に常に携帯させて下さい。

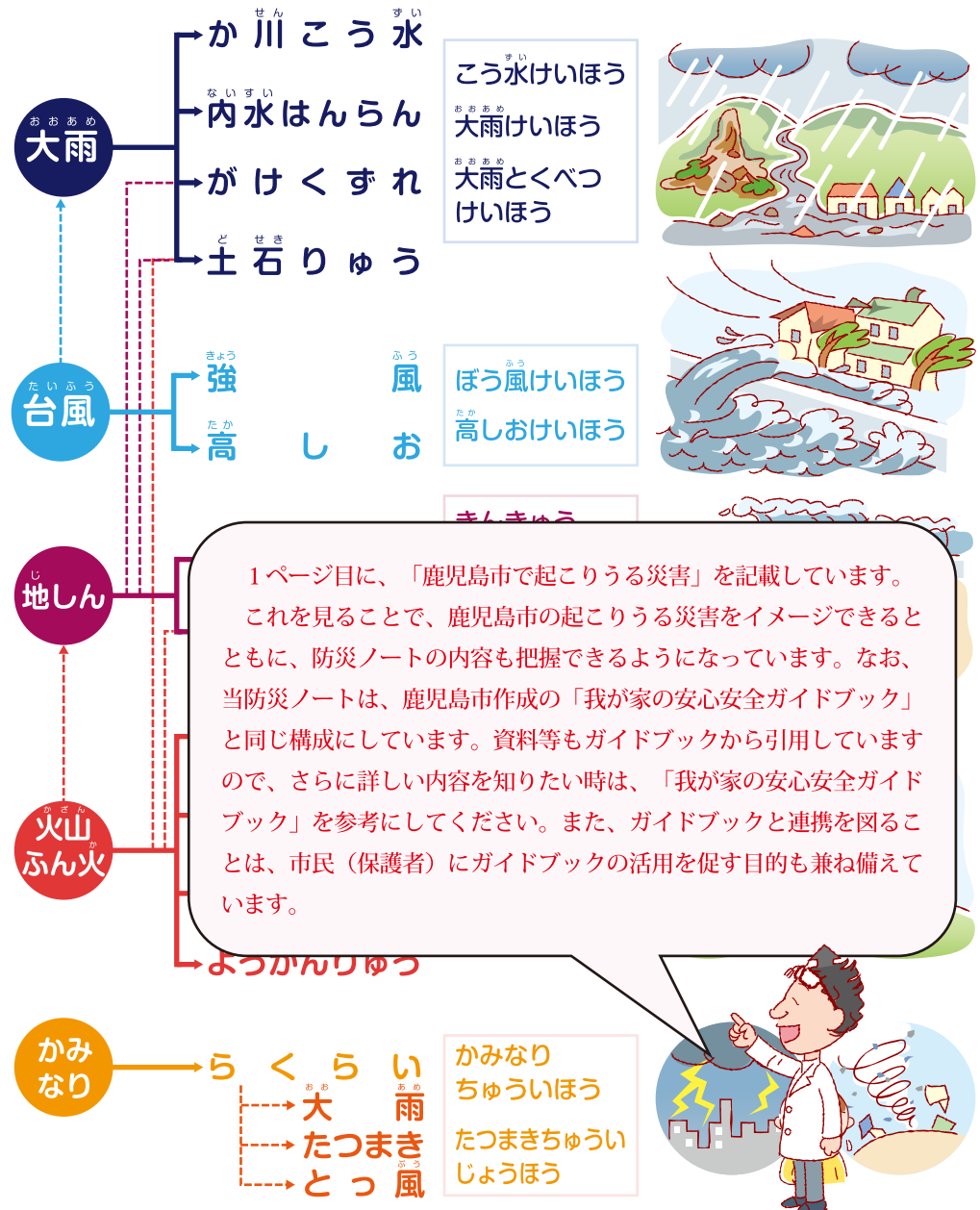
④地域性を取り入れた教材

児童生徒が、過去に起きた災害を知るとともに、過去の災害例等から危険を理解することができるよう、8・6水害や大正噴火など鹿児島市で発生した過去の災害など、身近な事例を取り入れました。

⑤学校で学習したことが家庭で活用される教材

児童生徒が、学校で学習したことを家庭でも活用できるように、家庭で確認する内容、家族と一緒に考える内容を設け、児童・生徒だけでなく保護者と一緒に防災や自然災害について考えてもらえるよう工夫しました。また、通学路や家庭で災害が起こった場面を考えさせることで、学外や家庭での実生活の防災について学べるようにしています。

ゆういん げんしょう けいほうなど

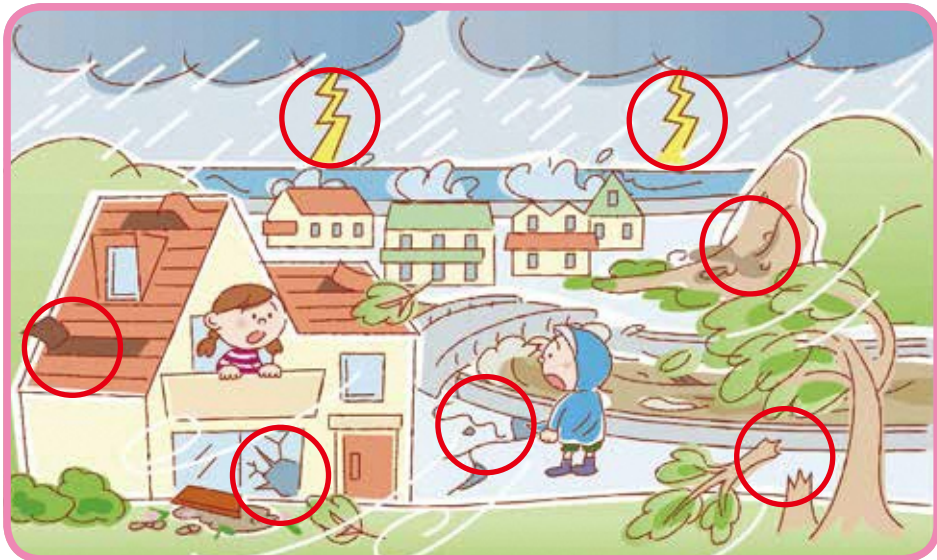




大雨・台風まなのことを学ぼう



！おおあめ たいふう大雨・台風になったら…
あぶないところを、○でかこみましょう。



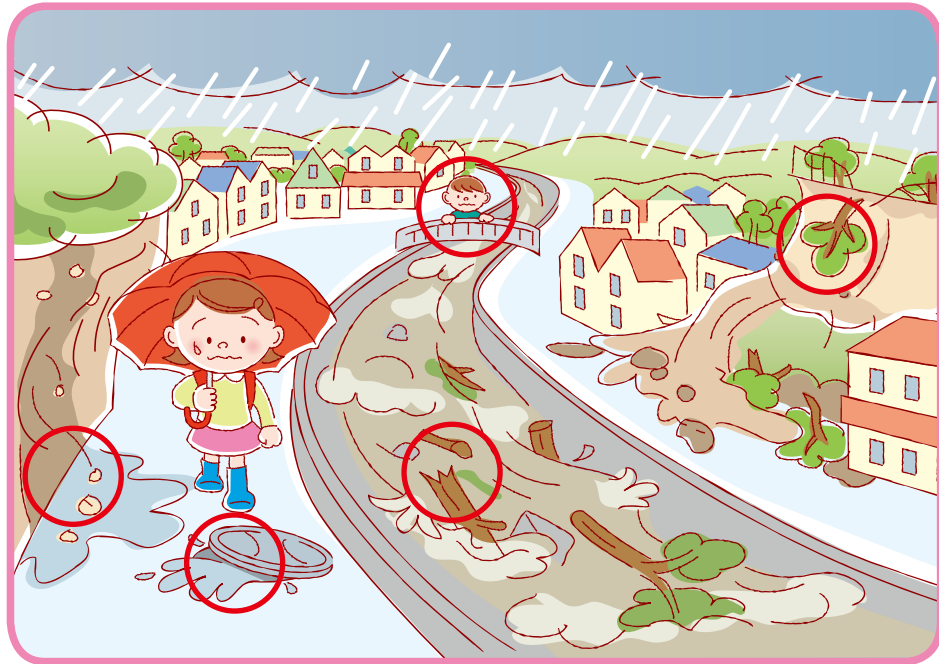
！おおあめ たいふう ととき大雨・台風の時に気をつけること
つぎの絵を見て、してもよいことは○、よくないことは×をつけてみましょう。

<p>× 外に出る</p> <p>ヒント つよい風</p>	<p>× 川や海に近づく</p> <p>ヒント 水がふえる</p>	<p>○ じゅんびをする</p> <p>ヒント ひなんする</p>
-------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------

！はちろくすい8・6水がい

平成5 (1993) 年8月6日、鹿児島県に大雨がふり、土しゃくすれや川のはんらんがあちこちでおきました。多くの人、いのちをうばわれたり、けがをしたりしました。たてものや道ろにも大きなひがいが出ました。甲突川の5つの石ばしのうち、のこった3つのはしが公園にうつされました。

！と土しゃさいがい、せんか川はんらんがおきたら…
あぶないところを、○でかこみましょう。



！と土しゃさいがい、せんか川はんらんときの時に気をつけること
つぎの絵を見て、してもよいことは○、よくないことは×をつけてみましょう。

<p>× がけに近づく</p> <p>ヒント 小石がおちる</p>	<p>○ 川からはなれる</p> <p>ヒント 川の水がさがる</p>	<p>○ 土しゃにたいしてよこにける</p> <p>ヒント スピードがはやい</p>
-----------------------------------	-------------------------------------	--

メモ 家で大雨・台風について話しあって、気をつけることを考えてみましょう。

P2.3の資料をつかって、家族の人との話し合う機会を促す。

ひなんのはんだんと行どう

「ひなんのはんだんと行どう」については、地しん・つなみや火山ばくはつのはつさいがいでござん考にしましよ。

いのちをまもる行どうを

きけんじょうきょうの中でのひなんはさけ、あんぜんをだいに考えます。きけんがせまっている場合は、していされたひなんじょへのいどう(①すいへいひなん)だけでなく、いのちをまもる行どうがひつようです。



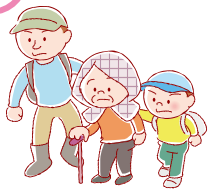
たとえば

- きけんな場しよがわかりにくい
- ひざ上までしん水している
- 水のながれるそくどがはやい

②すい直ひなん・・・
 おく外へのいどうはきけんです。たてものがあんぜんな場合は、自たくなどのたてももの2かい上へひなんし、きゅうじょをまつことも考えてください。

! つぎの絵を見て、してもよいことは○、よくないことは×をつけてみましょう。

○ 早めにひなんする



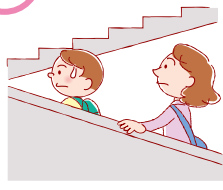
ヒント 自分ではんだん

× しん水の中をひなん



ヒント ながされる

○ ビルのおく上にひなん



ヒント たかいところへ

ひなん時のポイント

正しいじょうほうをえる。



家ぞくのじょうきょうをかくにんし、れんらくがとれない時はメモをのこす。



せまい道・ほりぎわをさける。
 ・川べりをさける。



地しん・つなみのことを学ぼう



! まずは自分の体をまもりましょう

家でいでは

- 頭をほごし、あんぜんな場しよにひなんする。
- あわてて外にとびださない。
- むりに火をけそうとしない。



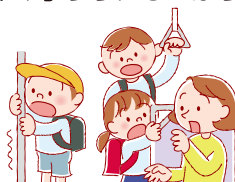
おく外では(まち)では

- ブロックべいのとうかいにちゅうい。
- かんばんや、われたガラスのらっ下にちゅうい。



でん車・バスでは

- つりかわ、手すりにしっかりつかまる。



人が大ぜいいるしせつでは

- かかりいんのしじにしたがう。
- あわてて出口に走りださない。



! つなみがきたら...

つぎの絵を見て、してもよいことは○、よくないことは×をつけてみましょう。

○ 高い場しよに行く



ヒント 大なみが来る

× 車にのって行く



ヒント じゅうたいする

× 川や海のそばを通る



ヒント 水でおほれる

メモ

家ぞくで地しん・つなみについて話しあって、気をつけることを考えてみましょう。

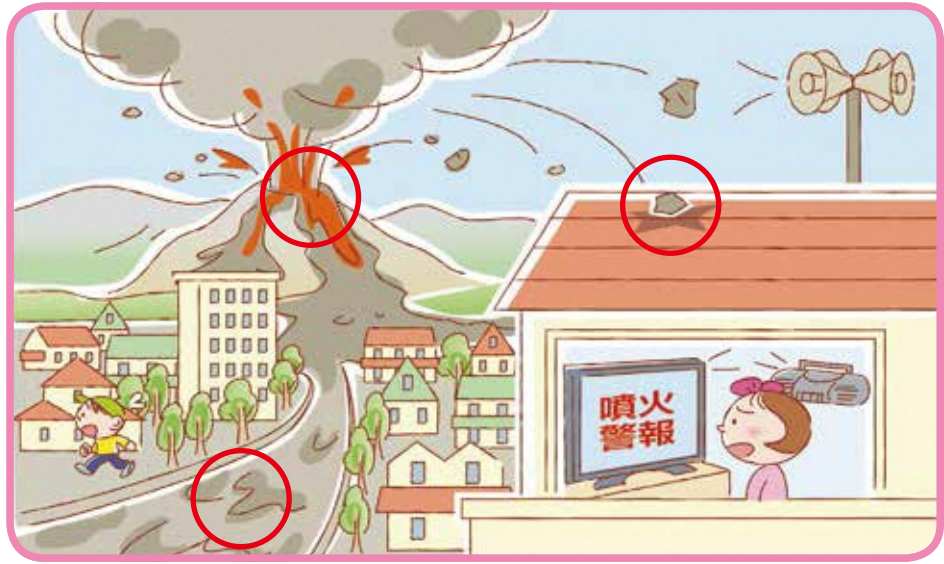
P4.5の資料をつかって、家族の人との話し合う機会を促す。



火山ばくはつかざんのことを学まなぼう



❗ 火山がばくはつしたら…
あぶないところを、○でかこみましょう。



❗ ひなんする時のふくそうは？
絵を見て、()に書きましょう。

目をまもるために (ゴーグル) をかける

火山ばいかざんばいが口に入らないように (マスク) をする

手をまもるために (ぐん手) をはめる

頭あたまをまもるために (ヘルメット) をかぶる

うごきやすいように (リュックサック) をせおう

歩きやすいように (うんどうぐつ) をはく

❗ 桜島 大正ふん火

鹿児島島のシンボル桜島は、大正3(1914)年1月12日に大ばく発をおこしています。1162戸のたてものがこわれ、ふき出したよう岩にうまりました。黒神中学校のよこにあるとりい(高さ3m)は、上の1mぶんだけをのこしてうまりました。

やっておくべきこと

<h3>ひがいをイメージ</h3> <p>どんなえいきょうがあるか考える</p>	<h3>ひなんにそなえる</h3> <p>自分にとってひつようなものをじゅんびする</p>	<h3>じょうほうをかくにん</h3> <p>じょうほうをまつのではなく自分からとりにいく</p>	<h3>ひなんくんれん</h3> <p>地いきのひなんくんれんにさんかする</p>
--	---	---	---

クイズ・桜島のめぐみとそのみか

<p>もんだい 1</p> <p>桜島大こんのおもさはさい大でどれくらい？</p> <p>①5キログラム ②30キログラム ③90キログラム</p>	<p>せかいいち大きな犬こんです。</p>
<p>もんだい 2</p> <p>桜島小みかんの直けいはどれくらい？</p> <p>①1センチメートル ②3センチメートル ③10センチメートル</p>	<p>せかいいち小さなみかんです。</p>
<p>もんだい 3</p> <p>つばきのたねからはなにができるだろう？</p> <p>①コーヒー ②あぶら ③おさけ</p>	<p>ぼう風林としても、うえられていました。</p>

メモ 家でよくで火山ばくはつについて話しあって、気をつけることを考えてみましょう。

P6.7の資料をつかって、家族の人との話し合う機会を促す。

そのほかのさいがいを学ぼう

❗ **かみなりが鳴りはじめたら…**
あぶない行どうを、○でかこみましょう。



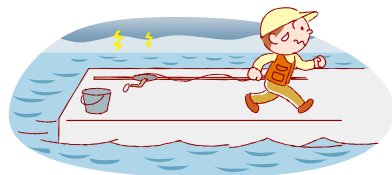
らい鳴が聞こえたら…

- らい鳴が聞こえたら、おく外にいる人は、たてもや自動車の中へひなんしましょう。
- ちかくにひなんする場しよがない場合は、しせいをひくくしましょう。

きけん 雨やどりで木のそばにちかづくのはきけんです。
※木やでんちゅうから4メートルい上はなれましょう。



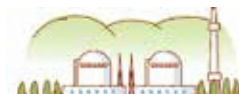
- しゅういのひらけた場しよでは、雨がふってもかさをさしてはいけません。
- つりざおなどの長い物は、体からはなして地めんになかせましょう。



❗ **原子力はつ電しよで、じこがおきたら…**



原子力はつ電しよで、じこがおきたら、はつ電しよから目には見えぬ、においもしないほうしゃせいぶつがもれ出し、体にいろいろなえいきよをあてえます。



まもること・大切なこと

**じょうほうを
あつめる**

ニュースやほう
そうをよく聞く



**たてものの
中に入る**

家のドアやまどを
ぜんぶしめる



**外から
帰ったら**

手や顔をあらう



**ひなんする
時は**

おとなの言うことを
よくきく



❗ **だんどうミサイルがはっしやされたら…**



だんどうミサイルは、はっしやから10分もたたないうちにどうたつするかのうせいもあります。日本にらっ下するかのうせいがある場合は、国からのきんきゅうじょうほうをしゅんじにつたえる「Jアラート」をかつうして、ほうさいぎょうせいむせんでサイレン音とともにメッセージをながすほか、きんきゅうそくほうメールなどによりきんきゅうじょうほうをお知らせします。

Jアラートメッセージ

れい 直ちにひなん。直ちにひなん。直ちにたてものの中、または地下にひなんしてください。ミサイルがらっ下するかのうせいがああります。直ちにひなんしてください。

メッセージがながれたら、おちついて直ちに行どうしてください。

おく外にいる場合

ちかくのたてものか、地下にひなん。



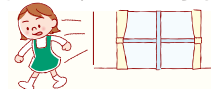
たてものがない場合

ものかげにみをかくすか、地めんにつせて頭をまもる。



おく内にいる場合

まどからはなれるか、まどのないへやにいどうする。





さいがいの時にまもること



学校で地しんにあったら

地しんやつなみなどのさいがいは、いつおこるか分かりません。
自分をまもるために、どんなことに気をつければよいでしょう。

① たしかめる

1. 先生（家の人）を見る。
2. 話をよく聞く。



やくそく

- ・していたことをすぐやめる。
- ・「何」を「どうするか」を聞いて、行どうする。

② じゅんびする

1. みをまもる道ぐをもつ。（ぼうし・ハンカチ）



- ・おちついてじゅんびする。

③ ひなんする

1. す早くならぶ。
2. す早くいどうする。



- 「おさない」
 - 「かけない」（走らない）
 - 「しゃべらない」
 - 「もどらない」
- をしっかりとまもる。

3. ひなん場しよでまつ。



- ・まわりのようすにもちゅういする。

！ ひなんする時は…

つぎの絵を見て、してもよいことは○、よくないことは×をつけてみましょう。

× かつ手にとび出す



ヒント → おちつく

× おしゃべりをする



ヒント → おとなの話を聞く

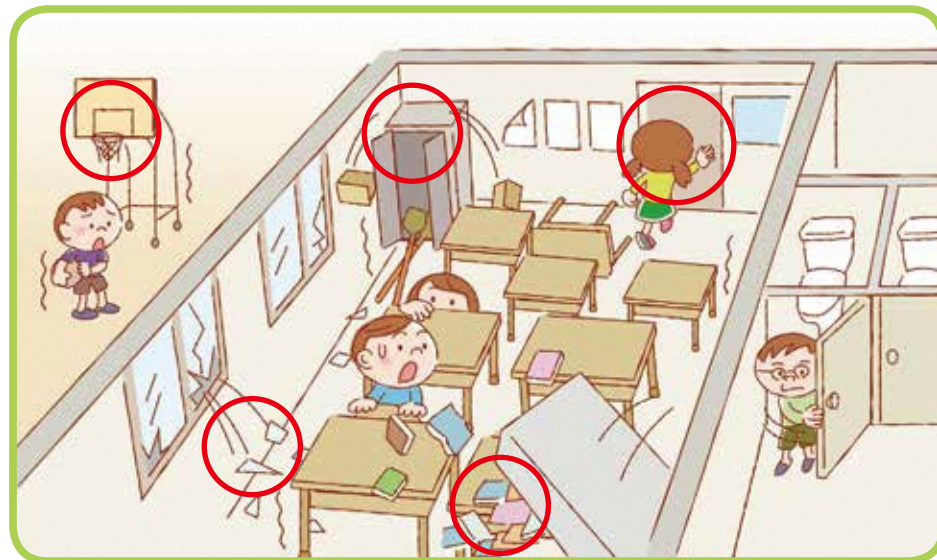
× すぐ家に帰る



ヒント → あんぜんな場しよにいる

！ 学校で地しんにあったら…

あぶないところを、○でかこみましょう。



！ 学校で地しんがおきた時に、気をつけること

つぎの絵を見て、してもよいことは○、よくないことは×をつけてみましょう。

× すぐへやから出る



ヒント → おちついて行どうする

× ゴールにつかまる



ヒント → ものがたおれる

× 走る・とびおる



ヒント → けがをする

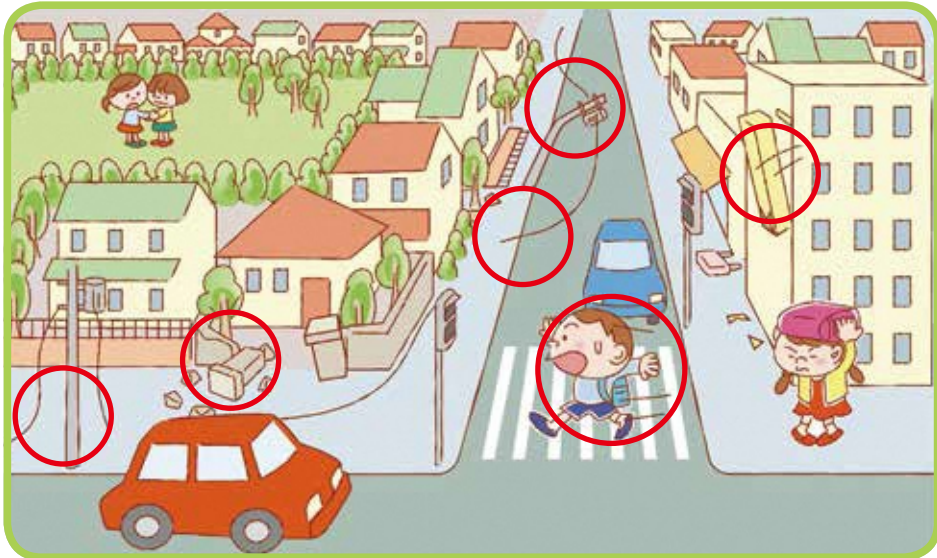
！ こんな時はどうする？

校ていにいるときに、地しんがおきたら、校ていのどこがあんぜんか、考えてみましょう。

校ていの 中おうで まわりに たおれるものがないところ

外で地しんにあったら

！学校の行き帰りや、出かけている時に地しんにあったら…
あぶないところを、○でかこみましょう。



！外で地しんがおきた時に、気をつけること
つぎの絵を見て、してもよいことは○、よくないことは×をつけてみましょう。



ヒント つなみが来る



ヒント はしがこわれる



ヒント たてものがこわれる

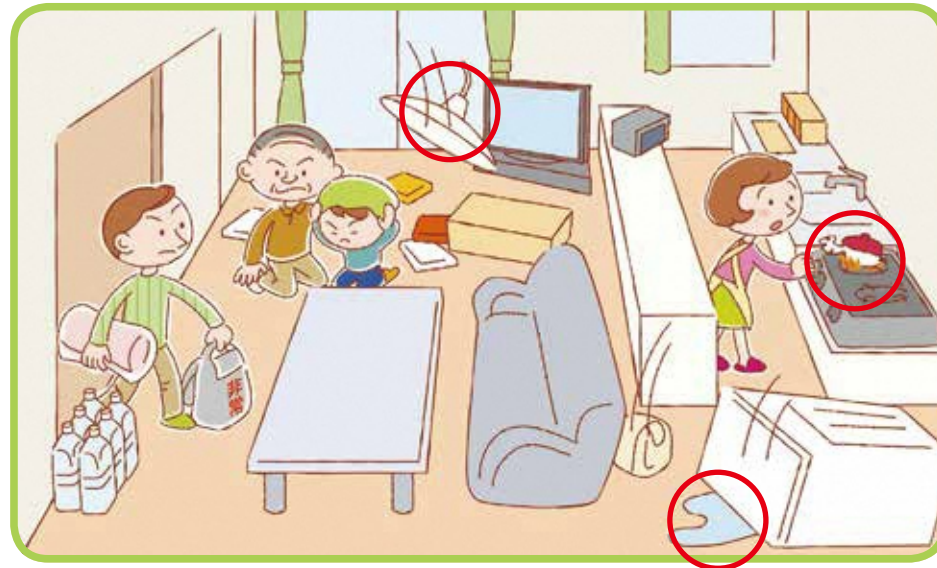
！こんな時はどうする？

山のそばにいるときに地しんがおきたら、どんなきけんがあるか、考えてみましょう。

がけくずれ 土しゃくずれ

家で地しんにあったら

！家で地しんにあったら…
あぶないところを、○でかこみましょう。



！家で地しんがおきた時に、気をつけること
つぎの絵を見て、してもよいことは○、よくないことは×をつけてみましょう。



ヒント にげ道を作る



ヒント きゅうにとび出すときけん



ヒント みをまもる

！こんな時はどうする？

「ゆれがおさまるまで」と「ゆれがおさまったら」どうすればよいか、考えてみましょう。

ゆれがおさまるまで
つくえやテーブルの下にもぐって
みをまもる。

ゆれがおさまったら
火をけす。
ひじょうもち出しひんをもってひなんする。



ひなん場しよ



おこりそうな、さいがいは何？



！ きけんな場しよと、ひなん場しよをしらべよう

学校から家までの帰り道を書いたり、地図をはったりして、あんぜんな場しよには○、きけんな場しよには×をつけましょう。家ぞくといっしょに、話し合いながら書いてみましょう。

- ・家にいる時に、大きな災害が起こった場合、避難場所がどこか調べる。
- ・安全な場所には○(家から避難場所までの道や目印を記入してもよい)。
- ・危険な場所には×(書けるのであれば、どうして危険かも考えさせる)。
- ・市が作成している「ハザードマップ」等を参考に。

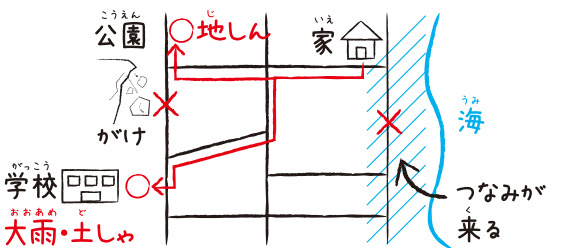
※小学生の低学年は、一人で書くことができない場合が多いため、保護者の方の協力を得ながら一緒に考えさせ、避難場所等の確認に活用してください。

学校から家までの道であぶないところはあるかな？



見本

- ひなんする場しよ
- × きけんな場しよ
- 通る道



！ どんな「きけん」が近くにがあるか、しらべよう

自分たちのまちでは、どんなさいがいがおきるでしょうか？近くにがある自ぜんなどから、そうぞうしてみましょう。

桜島がある → ふん火 火山ばい

海が近い → 台風のとき 高なみが来る

地しんのとき つなみが来る

公園の近くにがけがある → 大雨のときに くずれる

など

みんなのまちは
どんなところかな？
海、火山、がけなどがあるかな？



ひなん行どうのイメージ

「わが家のあん心あんぜんガイドブック」や「かごしまマップ」で自たたくのあんぜんをかくにん

自たたく外
ひなん

●自たたくがきけんな場しよにあるとき

●自たたくがあんぜんな場しよにあるとき

自たたく
ひなん

- ・避難の判断の確認
- ・避難場所、避難経路の確認

・家族の状況を確認する。



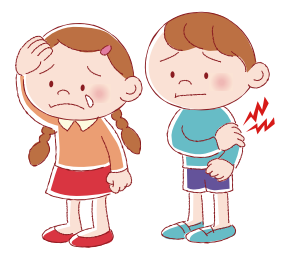
けがをしたときは



ひなんくんれん

！もしけがをしてしまったら…

まずは、おとなにたすけをもとめましょう。
その時あまりいたくなくても、後からいたみが
ひどくなることもあります。かならず、先生や家の
人に言いましょう。



！つぎの文で正しいものには○、
正しくないものには×をつけてみましょう。

- すりむいて血が出たので、水であらい、ガーゼを当てた。(○)
- 頭をうって、はき気がしたが、そのままねていた。(×)
- とびらで手をはさみ、はれ上がったが、がまんした。(×)

！おうきゅう手当

けがをした時に、あわてないように、おうきゅう手当をおぼえましょう。

こっせつ	出けつ	やけど
かたいものをそえて うごかないようにする。	せいけつなガーゼなど で、きずをおさえる。 血にふれない。	30分以上、 水でひやす

おうきゅう手当をしたら、
かならず、びょういんに行きましょう。

！ひなんくんれんの前に…

なぜひなんくんれんをするのでしょうか？ 考えてみましょう。

じっさいに さいがいがおきたときに
おちついて 行どうできるようにするため

！ひなんくんれん

月 / 日	
	<p>避難訓練は、災害発生時に児童生徒等が常に安全に避難できるよう、その実践的な態度や能力を養うとともに、災害時に地域や家庭において、自ら進んで他の人々や集団、地域の安全に役立つことができるようになることを目指して行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「揺れたら」(初期対応)の訓練 2. 「揺れが収まったら」(二次対応)の訓練
	<p>教科・領域と関連させた避難訓練</p> <p>学級活動や教科との関連を図って事前・事後指導を行ない、自然災害の種類やその発生メカニズム、種類や災害の規模によって起こる危険や避難の方法について理解させるとともに、訓練実施後には、反省事項等についてもよく指導し、訓練の効果が高められるように配慮することが大切です。</p>